



〒892-0841 鹿児島市照国町13-42 カトリック鹿児島司教区 電話099(226)5100 振込口座 02030-2-8359 編集発行 教区広報部 1部60円年間千共1100円

道標



Yet... Joy! Hope! Gratitude!

# 「それでも…」と生きた12年

## 郡山司教の働きを振り返る

10月8日(月)、鹿児島教区は郡山健次郎司教の後任として新しい教区長(中野裕明司教)の誕生を祝う。教区報では2006年1月に司教に叙階され、教区長として独自の「らしさ」を前面に押し出し、働いた郡山司教の功績を思い起こしてみたい。

### それでも喜び：

2006年1月29日に「鹿児島純心女子学園」体育館であった司教叙階式には、県内外から17000人余の信者が駆けつけ、郡山司教の誕生を祝った。

財政問題をはじめとする教区の基盤作りを奔走した長崎出身の糸永真一司教からその任を引き継ぎ教区長となった郡山司教がまず取り組んだのは信者としての生き方の確立。司教が自身の紋章に掲げたモットー「それでも喜び、希望、感謝」を教区民の、キリスト者の生き方とするようにと念願し、在任中に起こったあらゆる問題の解決にもそのモットーと照らし合わせながら取り組んでいった。

### 全小教区に司祭を

郡山司教誕生後、最初の喜びは司教叙階後2週間余であった助祭叙階式(現・ティエン神父)だった。

これは糸永司教在任中に始まった「ベトナムがフィリピンで養成している神学生の中から鹿児島教区で働

いてくれる神学生を獲得し、教区で働いてくれる司祭として叙階する」というプロジェクトの裏の表れだった。当時、このプロジェクトの交渉役だった郡山司教(当時は司祭)は、糸永司教の思いを引き継ぎ、ベトナム人司祭4人(アン、タム、ダウン、ティエンの各神父)を叙階した。

「全小教区に司祭を置きたい」と願っていた郡山司教は、その後も韓国人神学生を受け入れ(2009年)、その後、司祭に叙階。また事情があつて修道会を出た司祭、修道会の枠におさまらなかつた司祭たちを受け入れ、「司祭が欲しい」という信者の要求を満たしていった。

郡山司教在任中、10人を司祭として叙階し、他に4人の司祭を獲得している。郡山司教在任中に糸永司教を含む7人の教区司祭が天に召されている。外国人司祭や修道会関係の司祭の獲得がなかつたら教区の姿も変わっていたに違いない。

波風 司教叙階から1年余りが過ぎた頃、スペインからマルチネス一家(宣教師)を受け入れた。私財のすべてを投げ打って海外での宣教を行う彼ら一家に心を打たれた司教だったが、日本では彼らの所属するグループとまたそのような生き方への理解が浸透していなかつたこともあり周囲への影響を考慮し、鹿児島から奄美大島へとその派遣先を変更、また日本司教団との足並みを揃えるためにその受け入れを中止する判断をすることになった。失敗とも思われる宣教師の受け入れだったが、彼らの信仰と一途な生き方に感動した信者たちも少なからずいたことは否めない。

### 波風

郡山司教在任中、今年9月には鹿児島でアジア会議が開かれるなど、MEが活発になった。

またインターネットを使った宣教にも乗り出し、自身のブログを公開、眼には

鹿児島教区主権の信仰の基礎を学ぶ「夏期集中講座」が今年も8月20日(月)～24日(金)までの5日間、ザビエル教会一階ホールで開催された。これは「信仰の基本的内容を種々の角度から学ぶことを通して信仰の基礎を確認するとともに、私たちに尋ねる人に私たちの信じていることを告げることができるよう」と1992年から始められたもの。第1回の講座の講師にはネメシエギ神父を招き、それ以降の今年度の講座を含む26回の

## 約100人が熱心に学習

### 今年の夏期集中講座

講師を竹山昭神父が担当して続けられてきた。27回目となった今年の講座のテーマは「祈りを中心

鹿児島教区主権の信仰の基礎を学ぶ「夏期集中講座」が今年も8月20日(月)～24日(金)までの5日間、ザビエル教会一階ホールで開催された。これは「信仰の基本的内容を種々の角度から学ぶことを通して信仰の基礎を確認するとともに、私たちに尋ねる人に私たちの信じていることを告げることができるよう」と1992年から始められたもの。第1回の講座の講師にはネメシエギ神父を招き、それ以降の今年度の講座を含む26回の



講師を竹山昭神父が担当して続けられてきた。27回目となった今年の講座のテーマは「祈りを中心

## 中野裕明被選司教 司教叙階式・祝賀会

叙階式 10月8日(月)13時 宝山ホール(県文化センター) 鹿児島市山下町5-3 Tel.099-223-4221

祝賀会 10月8日(月)17時 鹿児島サンロイヤルホテル 鹿児島市与次郎1-8-10 Tel.099-253-2020

## 10月21日は世界宣教の日

世界にはまだキリストを知らない人がたくさんいます。日本でもわたしたちはキリストを知らない人たちに囲まれて生きています。キリストを伝えることである宣教は、神の子ども、キリストの弟子となつたわたしたち皆に与えられている使命です。「世界宣教の日」は、すべての人に宣教の心呼び起こさせること、世界の福音化のために、霊的援助をはじめ宣教者たちの交流を各国の教会間で推進することを目的としています。この日の献金は、各国からローマ教皇庁に集められ、世界中の宣教地に援助金として送られます。日本の教会は、いまだに海外から多くの援助を受けていますが、経済的に恵まれない国々の宣教活動をさらに支援できるように成長していきたいものです。

災害支援担当者会議 長崎教会管区「災害支援担当者会議」が8月29日(水)、別府市で開催された。この会議は東日本大震災支援を通じて得た経験を生かし、長崎教会管区で大災害が発生した際、迅速かつ効果的な支援をするための準備と連携を維持するために今年4月、長崎大司教

に抱く山上の説教」で、午前の部、午後の部合わせて100人が熱心に学習した。受講者たちのほとんどは鹿児島市内の信者たちだったが、指宿、溝辺、川内などの教会から駆けつけてきた信者の姿もあつた。

見えないが多くの人々をカトリックのシンパとしていた。その他、人との交流が大好きな司教は、青年、壮年、大勢の信者、他宗教との親密な交流を持ち、これまでの教区長の威厳とは違つた手法で友好の輪を広げ続けた。郡山司教の功績を無駄にせずに、次期教区長・中野司教と共に鹿児島教区を成長させたいものである。

9月18日(火)午前10時から教区本部で開かれた定例司祭会議(コンベンツス)には、約30人の司祭、助祭が出席し、担当教会の情報交換、また各担当からの報告を受けた。またこの日は午後から「性暴力と性虐待の影響について」の講演(講師はNPO法人レジリエンス代表の中島幸子さん)があり、熱心に学習した。前日の17日(月)には、司祭評議会、教区司祭会も開催された。

区本部に同管区災害支援室が設置された。スタッフは、今年3月に閉所した大槌ベースでベース長を務めた片岡英和氏(長崎教区)。今回の会議では、カリタスジャパンが現在発行準備を進めている「災害対応マニュアル」の草稿についての質疑応答が担当者に対して行われた。

### 定例司祭集会

## 教区本部の空調設備工事を承認 6月の経済問題評議会

6月10日（日）午後、教区本部で2017年度の決算と2018年度の予算を審議する教区経済問題評議会が開催され、どちらも概ね了承された。今年度の事業予算として承認されたもので大きなものは、教区本部の空調設備の取り替え。建設から約20年が経過した教区本部には、数年前から会議室を利用している人たちが、居住している司祭たちから「冷暖房が効かない」などの苦情が寄せられていた。これは建設当時に、本来必要だった容量を持った機器を設置できていなかったため。それによって、しばしば空調設備が停止、またそれらと連動する室外機も故障を繰り返してきた。取り替え工事には、10日間程を要するため、冷暖房無しでも過ごせる11月の工事が予定されている。

以下に、これまで要望のあった教区会計収支計算報告書を掲載する。また機会があれば神学生養成費他の計算書を掲載していきたい。

# 教区会計収支計算報告書

## 2017年度

期間：2017年4月1日～2018年3月31日

経常収入			
科目	予算額	決算額	備考
1 献金収入	( 29,900,000 )	( 26,568,600 )	
教 区 費	22,000,000	16,959,472	教区(司祭)30% 修道会20%
ミサ 献金 収入	6,500,000	7,482,486	教区(司祭)50% 修道会0%
カリタス鹿児島献金	1,400,000	949,092	
教区財政正常化献金	0	1,177,550	
2 補助金収入	( 8,984,000 )	( 6,586,916 )	
聖 座 補 助 金 収入	2,100,000	2,297,820	
教区司祭医療積立金収入	84,000	73,000	
教 区 司 祭 年 金 収入	6,800,000	4,216,096	
3 墓地権利収入	( 300,000 )	( )	
4 墓地管理費収入	( 700,000 )	( 78,000 )	年間1人3,000円 墓地会計報告は別紙 教区会計に入ったのみ
5 寄付金収入	( 17,000,000 )	( 12,399,622 )	
司 祭 寄 付 金 収入	15,000,000	11,239,622	
一 般 寄 付 金 収入	1,000,000	1,160,000	
特 別 寄 付 金 収入	1,000,000	0	
6 祭 儀 収 入	( 4,000,000 )	( 3,480,150 )	小教区(教区司祭担当) 祭儀収入(全額)
7 法定献金収入	( 4,400,000 )	( 4,665,382 )	
広 報 の 日 献 金	400,000	290,534	
聖ベトロ聖座献金	400,000	293,873	
世界難民移住移動者の日 献 金	400,000	337,859	
世界宣教の日献金	400,000	262,691	
宣教地司祭育成献金	400,000	322,358	
児童福祉の日献金	1,000,000	1,185,397	
聖 地 献 金	400,000	246,898	
四旬節愛の献金	1,000,000	1,725,772	
8 事 業 収 入	( 216,000 )	( 142,546 )	
補 助 活 動 収 入	100,000	67,116	ミサワイン 教会公用書式 他
施設設備利用料収入	86,000	45,430	九州電力 電柱敷地料他
賃 借 料 収 入	30,000	30,000	(社) 善き牧者会
9 繰 入 金 収 入	( 300,000 )	( 200,000 )	
ザビエル教会繰入金	300,000	200,000	バイブオルガン
10 広 報 部 収 入	( 1,900,000 )	( 1,656,540 )	別紙明細
11 その他の収入	( 2,491,500 )	( 7,212,710 )	
前期末未収入金収入	459,300	374,504	教区費 ミサ献金収入
配 当 金 収 入	12,200	99,244	
受 取 利 息 収 入	20,000	905,642	野村証券
雑 収 入	2,000,000	5,833,320	夏期集中講座 聖園老人ホームからシスターの給与分 聖心PC
12 資金収入調整勘定	( -500,000 )	( -679,078 )	
期 末 未 収 入 金	-500,000	-679,078	教区費366,020 祭儀収入44,000 ミサ献金収入226,058
経常収入合計 A	69,691,500	62,311,388	

財務収入			
科目	予算額	決算額	備考
1 固定資産売却収入	( 0 )	( 10,000,000 )	
不 動 産 売 却 収 入		10,000,000	
2 特定預金取崩収入	( 8,500,000 )	( 14,195,000 )	
カリタス鹿児島基金取崩 収 入	1,000,000	900,000	
教 区 基 金 取 崩 収 入	0	11,000,000	加世田教会建設予定地購入のため(小田屋ビル)
故伊牟田育子基金取崩 収 入	5,000,000	0	
教 区 司 祭 年 金 取 崩 収 入	2,500,000	2,295,000	
3 長期借入金収入	( 0 )	( 0 )	
4 その他の収入	( 9,100,000 )	( 10,821,024 )	
立 替 金 回 収 収 入	100,000	0	立替金の戻り 立替金支出に対応
仮 払 金 回 収 収 入	500,000	255,000	仮払金清算による戻り 仮払金支出に対応
預 り 金 受 入 収 入	8,500,000	9,966,024	社会保険 雇用保険 所得税 住民税 その他
貸 付 金 回 収 収 入	0	600,000	国分教会
5 資金収入調整勘定	( 0 )	( 0 )	
期 末 未 収 入 金	0	0	
6 財務収入合計 C	( 17,600,000 )	( 35,016,024 )	
7 収入合計 E=A+C	( 87,291,500 )	( 97,327,412 )	
8 前年度繰越金 G	( 26,763,787 )	( 83,112,579 )	
合 計 E+G	( 114,055,287 )	( 180,439,991 )	

経常支出			
科目	予算額	決算額	備考
1 人 件 費	( 44,800,000 )	( 39,401,036 )	
給 料	35,000,000	29,325,495	司教・司祭(14名) シスター(3名) 職員(2名)計19名
法 定 福 利 費	5,500,000	4,052,445	社会保険料(厚生年金保険料 健康保険料 労災保険 雇用保険 児童手当拠出金)
福 利 厚 生 費	2,000,000	3,728,096	医療保険 医療費 葬儀費用
司 祭 年 金 支 出	2,300,000	2,295,000	成相師・田原師
2 維持管理費	( 5,200,000 )	( 4,674,021 )	
修 繕 費	2,000,000	1,922,816	施設修繕 バイブオルガン調律・点検 他
施 設 保 守 点 検 費	2,000,000	1,559,765	ビル/管理(保守点検) 、エレベーター保守
損 害 保 険 料	1,200,000	1,191,440	火災保険料(カテドラル、教区本部など6カ所)
3 墓地管理支出	( 1,000,000 )	( 694,680 )	墓地清掃管理代・墓地整備費用
4 事務運営費	( 9,400,000 )	( 7,724,804 )	
消 耗 品 費	300,000	512,629	印刷機トータルサービス料金 ガスキン取替 印刷用紙 日用雑貨
事 務 費	200,000	43,200	ファイル 給与ソフト年間サポート料他
通 信 費	700,000	593,611	電話料 切手 はがき 発送代
旅 費 交 通 費	600,000	595,130	公務出張旅費
水 道 光 熱 費	4,000,000	2,790,171	教区本部棟 唐湊司教館 奄美地区長館 研修の家
租 税 公 課	50,000	289,944	自動車税 法人の謄本他
支 払 報 酬 手 数 料	1,000,000	213,846	送金小切手手数料 振込手数料
自 動 車 諸 費	150,000	225,173	ガソリン代 高速料金 車検代
会 議 費	1,000,000	1,307,415	コンベンツス・司祭評議会の交通費 各委員会全国大会参加旅費他
図 書 費	130,000	113,388	新聞代 新日本法規出版
印 刷 費	70,000	19,440	封筒 領収書 印刷
賃 借 料	1,200,000	1,020,857	印刷機・コピー機・電話機・LEDリース
5 宗教活動費	( 3,270,000 )	( 2,389,132 )	
祭 儀 費	100,000	5,832	毎日のミサ 他
教 育 養 成 費	800,000	82,698	青少年の信仰養成(青年連絡協議会・中高生巡礼) 他
教 区 司 祭 研 修 費	1,500,000	1,259,013	三教区合同熱心会 司祭大会
宣 教 広 報 費	70,000	91,800	JR鹿児島中央駅構内(カテドラル・ザビエル教会)
行 事 費	800,000	949,789	ザビエル祭 福者レオ税所七衛門殉教祭 司祭叙階式他
6 広報部支出	( 1,600,000 )	( 1,665,427 )	別紙明細
7 補助金支出	( 4,000,000 )	( 4,132,100 )	
寄 付 金 支 出	1,000,000	924,100	
教 会 補 助 金	3,000,000	3,208,000	溝辺教会他4教会(5~7月のみ屋久島教会)

経常支出			
科目	予算額	決算額	備考
8 負 担 金	( 4,000,000 )	( 1,090,000 )	教区分担金910,000円 Can.1271条献金 170,000円
9 諸会費支出	( 60,000 )	( 141,616 )	
10 災害見舞金	( 0 )	( 0 )	
11 法定献金支出	( 4,000,000 )	( 3,683,509 )	
広 報 の 日 献 金	200,000	148,861	献金額の50%
聖ベトロ聖座献金	400,000	302,723	
世界難民移住移動者の日 献 金	200,000	169,374	献金額の50%
世界宣教の日献金	400,000	261,403	
宣教地司祭育成献金	400,000	33,555	献金額の10%
児 童 福 祉 献 金	1,000,000	1,195,626	
聖 地 献 金	400,000	227,418	
四旬節愛の献金	1,000,000	1,344,549	
12 事業支出	( 100,000 )	( 77,069 )	
補 助 活 動 支 出	100,000	77,069	ミサワイン仕入れ 結婚証明書
13 その他の支出	( 220,000 )	( 107,344 )	
雑 支 出	120,000	7,344	
慶 弔 費	100,000	100,000	
14 予 備 費	( 0 )	( 0 )	
15 資金支出調整勘定	( 0 )	( 0 )	
期 末 未 払 金	0	0	
経常支出合計 B	( 77,650,000 )	( 65,780,738 )	

財務支出			
科目	予算額	決算額	備考
1 固定資産取得支出	( 0 )	( 72,162,090 )	
土 地 取 得 支 出	0	18,560,000	加世田教会建設のため
建 物 取 得 支 出	0	3,202,630	加世田教会建設管理業務費用 大根占信徒館取り壊し費用
構 築 物 取 得 支 出	0	400,000	司祭墓地墓碑建設
有 価 証 券 購 入 支 出	0	49,999,460	野村証券(50,000,000円内の540円は送金手数料)
2 特定預金積立金支出	( 7,100,000 )	( 7,234,738 )	
カリタス基金積立金支 出	0	852,642	
退 職 積 立 金 支 出	500,000	500,000	
バイブオルガン維持基金積立 支 出	300,000	140,000	
教 区 司 祭 年 金 積 立 支 出	6,000,000	5,596,096	
教 区 司 祭 医 療 積 立 支 出	300,000	146,000	
3 借入金返済支出	( 0 )	( 0 )	
4 その他の支出	( 13,510,000 )	( 19,663,901 )	
立 替 金 支 出	10,000	0	
仮 払 金 支 出	500,000	255,000	教区司祭会研修
預 り 金 支 出	8,000,000	9,408,901	預り金収入に対応
貸 付 金 支 出	5,000,000	10,000,000	納骨堂建設のため
5 繰入金支出	( 0 )	( 0 )	
6 資金支出調整勘定	( 0 )	( 0 )	
期 末 未 払 金	0	0	
7 財務支出合計 D	( 20,610,000 )	( 99,060,729 )	
8 支出合計 F=B+D	( 98,260,000 )	( 164,841,467 )	
9 次年度繰越金 H	( 15,795,287 )	( 15,598,524 )	
合 計 F+H	( 114,055,287 )	( 180,439,991 )	

# 維新を求めて鹿兒島へ 8月下旬の九州青年キャンプ



8月25日(土)、26日(日)の2日間、鹿兒島市で九州青年キャンプが開催され、福岡、大分、長崎、静岡の各地から9人が参加し、鹿兒島の青年たちと交流した。

キャンプのテーマは今年が明治維新150年ということもあり、テレビドラマ「西郷どん」に因んで「カトドン」。キャンプを準備した鹿兒島の青年たちは、新しい自分の発見、新しい仲間との出会いなど多くの「維新」を見つけて欲しいと呼びかけた。

25日午後には集まった青年たちは、オープニングをザビエル教会で行った後、鶴丸城や南洲神社、福昌寺跡などを訪問、その後は各々の思いを分かち合い、翌日のザビエル教会の主日のミサにあずかって散会した。

## 司教執務室便り

### 七つの悲しみのロザリオ

10月と言えば、ロザリオの月ということになっているが、今のボクには8日の叙階式が待ち遠しい。それでも、最後となる今月号では、やはりロザリオのことを書いてみたい。

30数年も前のことになるが、今は亡きコンベンツアル会の坂谷神父さんにもらったロザリオは七連もある長いもの。マリア様の七つの悲しみに由来するものとは聞いていたが、どんなふうになるのかは教えてもらえないまま今日に至っていた。

しかし、8月の引越しの際、本棚を整理していると真新しい冊子が出てきた。ドン・ボスコ社から出されたもので「聖母マリア」―七つの悲しみの道行き―七つの悲しみのロザリオ、とあったのでビックリ。しかも、表紙の写真はあのシドゥッチ神父さんが持ってきた親指の聖母。早速開いてみると、七つの悲しみと祈り方が紹介されていたので皆さんに紹介したい。

唱え方は手元のロザリオと同じでも、七つの悲しみに対応して珠は七つしかなく、十字

架部分はマリア様のおメダイ。専用のロザリオがあるらしいと分かった。

聖母の七つの悲しみとは、第一、神殿でのシメオンの預言(ルカ2・34)による悲しみ。第二、エジプトへの逃避行(マタイ2・13)。第三、御子を見失う(ルカ2・42-46)。第四、カルワリオの途上で御子に会う(ルカ23・27-29参照)。第五、十字架のもとにたずむ(ヨハネ19・25)。第六、御子の亡骸を抱く(ヨハネ19・40参照)。第七、御子が墓に葬られる(ヨハネ19・42参照)。各連ごとに短いお祈りがつくが割愛したい。

実際にやってみると、マリア様と一緒に十字架の道行きをすることになるので、ロザリオの月よりもむしろ四旬節にふさわしいように思った。しかし、マリア様は母として私たちの悲しみや苦しみに寄り添ってくたさるので、今月は、とくに「喜びの神秘」の月曜日には七つの悲しみのロザリオをささげることをお勧めしたい。

因みに、2003年版の冊子は200円+税。ドン・ボスコ社に問い合わせるとロザリオも手に入るかもしれない。

長い間のご愛読ありがとうございました。



## レオ税所七右衛門殉教祭準備

### 京泊天主堂跡清掃作業ボランティア募集

日時 10月27日(土) 10時30分～  
※雨天の際は翌日(28日) 13時30分から実施  
集合場所 京泊天主堂跡入口 駐車場  
連絡先 Tel 090(3669)0423 徳永

## 性暴力と性虐待について学習

### 子どもと女性の人権相談室主催講演会

NPO法人レジリエンス代表で、米国法学博士、社会福祉学修士でもある中島幸子さんを講師に招いての講演会「性暴力と性虐待の影響について」が9月19日(水)午後、ザビエル教会主聖堂であった。

主催したのは子どもと女性の人権相談室で、約30人が聴講した。

中島さんは、性犯罪として表面に出ない性暴力や性



虐待の事例や被害者の心理状態を詳しく解説、その上で「子どもが安全な社会ならずと大人も安全な社会に成る。子どもを守る社会にしよう」と訴えた。

中島さんは前日の18日、定例司教集会に集まった司祭団にも同じような講演を行った。

## 短 信

### 始良教会堅信式

8月26日(日)、始良教会(アン神父主任司祭)では堅信式があり、大人6

## 文 芸

### 短 歌



国分教会 市来房枝  
遠き日に曾てテニスと共に  
せし中野司教の叙階を祝す  
(10月8日)

栗実り白萩そよぐ吾が庭に

## +KABAYAN SEKSYON+ Ang Kabataan Ngayon at ang Eukaristiya

Ang malawak na kontinente ng Asya ay tahanan ng halos animnapung bahagdan ng mga kabataan ng daigdig; ito ang "kontinente ng mga kabataan."

Ang karamihan sa mga kabataang ito ay mga dukha. May karapatan sila na mapaglaanan ng pagpapahalaga sa misyon ng Simbahan.

Ang mga kabataang ito ay hindi lamang ang kinabukasan ng mundo; sila ay mahalagang yaman ng kasalukuyan. Ngayon pa lamang, marami sa kanila ay naglilingkod bilang mga daan tungo sa pagbabago at daluyan ng pag-asa sa lipunan at Simbahan. Sa kabila nito, humaharap sila sa maraming mga paghamon bunsod ng panibagong kultura at mga bagong pagpapahalaga na itinataguyod ng isang *media* na secular.

Ang pastoral na paglingap ng Simbahan sa kabataan ay dapat tumugon sa mga mabilis na pagbabago (pisikal, emosyonal, sikolohikal at esprituwal) na kanilang dinaranas sa yugtong ito ng kanilang paglago bilang mga tao.

Paano sila magagabayang ng Simbahan na maging mga "mabubuting lupa" (tgn Mt 13:4-9) kung saan ang butil ng Salita ng Diyos ay magkakaugat at mamumunga nang sagana!

Habang naglalakbay ang Simbahan kasama ng mga kabataan, kailangan silang gabayan tungo sa Eukaristiya (kapwa Salita at Sakramento) para sa kaliwanagan at katatagan na kailangan nila sa pagharap sa kanilang mga personal na mga katanungan at mga pagdududa.

Ang Eukaristiya ay maaring magsilbi bilang isang tunay na paaralan ng mga pagpapahalagang Kristiyano.

Kung ang mga kabataan ay palaging nakikiisa sa Banal na Piging o Eukaristiya, mas higit pa nilang mapapalalim ang kanilang relasyon sa Panginoon Hesus, dahil sa Eukaristiya mararanasan natin ang presensiya ng Panginoon sa pamamagitan ng kanyang katawan at dugo na iniaalay sa pamamagitan ng santa Misa.

Sa Eukaristiya din ay binibigyan tayo ng buhay sa espiritu, sa ating mga kaluluwa bilang pagkain makalagit at dito natin mararanasan na kapiling natin ang Diyos na buhay.

*Katesismo sa Taon ng Eukaristiya at Pamilya (Fr. Dino Orolfo)*

中央協議会広報推薦  
=ガンボジアへ幸せを届けた  
ゴッちゃん神父の物語=  
**映画「father」**  
10月13日(土)~19日(金)  
マルヤガーデンズ7F  
ガーデンズシネマ

## 会 と 催 し

### 10月

2日(火) 大隅学園理事会・教区本部・10時

4日(木) 九州地区宗教担当者研修会・教区本部・6日

4日(木) サンタマリア神父叙階記念(1970年)

5日(金) 朴昶奎神父霊名(聖フランシスコ)

5日(金) デクルス神父命日(1980)

6日(土) 読書会・教区本部・16時

7日(日) 年間第27主日

8日(月) パードレピオの集い・ザビエル教会・12時30分

8日(月) 鹿兒島カトリック正義と平和協議会主催講演会

8日(月) 「聖書を発見する」・教区本部・15時

10日(水) 中野裕明司教叙階式・宝山ホール・13時

10日(水) 福岡英雄神父叙階記念(1989年)

12日(金) アッシュヤー神父霊名(聖マックス)

14日(日) 年間第28主日

16日(火) 教区巡礼委員会・教区本部・19時

18日(木) 大松正弘神父霊名(聖ジェラルド)

18日(木) 聖ルカ福音記者

20日(土) 内野洋平神父霊名(聖ルカ)

20日(土) 正義と平和協議会・教区本部・13時

21日(日) 年間第29主日

21日(日) ▼世界宣教の日(献金)

24日(水) 大水如安神父命日(1994年)

28日(日) 年間30主日

31日(水) ▼オリーブの会・教区本部・14時

31日(水) ミタマヤ神父命日(1984年)

### 祈りの意向

#### 【祈祷の使徒会】

世界共通 家庭は宝物  
日本の教会 世界平和への責任

鈴虫の音をけさは聞きたり

鴨池教会 前田儀子

みづ色の空はやはらかに昏  
れゆきて樹々は濃き影地表  
に落す

夜の庭に立つ向日葵は暗々と  
虚空に花輪の影を仰向く

# 侍者と朗読の仕方を勉強

## ザビエル教会学校がサマーデイキャンプ

8月最後の日曜日となった26日、教会行事の大掃除に参加した後、「ザビエル教会学校サマーデイキャンプ」が行われました。

参加したのは幼稚園児5人、小学生11人、高校生1人、保護者16人、リーダー6人。

開校式の竹山神父様のお話を聞いた後、ジョン神父様、諏訪神学生、典礼委員の小浦さんの指導で侍者の勉強、朗読を高校生の平尾菜夏実さんがリーダーとなりマイクを使い、練習しました。

時々、途切れそうになる集中力も、「美味しいお昼ご飯や、バスで出かける有馬さん宅を楽しみにしてね」とリーダーが声をかけると、瞳を輝かせて頑張っていました。

お母様が、心を込めて準備してくださったカレーライスとフルーツポンチを美味しく頂き、午後からは「平和について」学び、分かち合いました。「戦争がもたらすもの」教皇様のメッセージが込められた長崎の少年の写真の話や、原爆のことを「おりづるの旅」「まちゃんと」の絵本を通して学びました。

そして、平和のために自分ができることを考え、皆で分かち合いました。最後にバスで移動し、ザビエル様ゆかりの玉龍山前の「ありまーらんど」(子ども達がネーミングしました)で思いっきり遊びました。

芝生のお庭で、スイカ割りや、シャボン玉、水遊びを楽しみました。ジョン神父様



ザビエル教会所属の有馬啓介さん宅で記念撮影

低学年の子ども達は、聖書の一節を理解することに初めは大変そうにしていました。私も朗読する時、毎回のように大変で、共感します。

聖書の一節を朗読することは、主の御言葉を伝えること。どうしてこのことを伝えたいのか、朗読する上で意図していることを導き出すのに実に苦労する時もしばしばあります。

しかし、今回のサマーデイキャンプの中で学んだことがひとつあります。それは、神様は上手さを求めて

いるのではなく、いかに心を込めたかを見ておられるという事です。これからの朗読がこれまで以上に実り多い学びになることを願っています。

小学2年生 泉 るか

ごぜん中は、じしゃとろうどくの勉強でした。マイクをつかたり、みんなとおしゃべりしたりするのが楽しかったです。でも、とてもながいじかんでした。ママたちがつくってくれたカレーをおかわりしておいしかったです。

ごごに、アリアランドであそびました。入じょうむりようで、おむかえバスつきです。広くてみどりがいっぱいです。しん父さまや、リーダーと水あそびもして、すいかわりをしました。アリアランドは、楽しすぎて、10分くらいしかない気がしました。楽しい時間をかみさまありがとうございます。かみさま、またおねがいします。

### 参加者の感想文

高校生 平尾菜夏実

父様に水をかけられた子ども達の弾ける笑い声と、走り回る元気な姿に、教会の明るい未来と神様が共にいてくださることを強く感じるこのときできた実り多いサマーデイキャンプになりました。ご協力くださった皆様に感謝申し上げます。

私は、今回サマーデイキャンプで、侍者の勉強会に参加させていただきました。その中で最も印象深いものは、朗読の練習でした。私は、今回朗読の練習のリーダーとして子どもたちに朗読の仕方について話をしました。特に苦労したことは、子ども達に分かりやすく伝えることでした。

## KJJP (鹿児島正義と平和協議会) 通信 10月号

5月の講演会で聞いたカール・マルティニ枢機卿の言葉が今も残っている。「教会は疲れている」。

(中略) 今日、教会では、残り火の上にとても多くの灰が覆い被さっているのを見て、私はしばしば無力感に苛まれる。どうすれば、愛の炎を再び燃え立たせるために灰の中から残り火を取り出すことができるだろうか。

世界中で多くの司祭や信徒を霊的に指導してきた方であり、日本にも多くの読者を持つ方の「遺言」である

## 康由神父の聖書教室(6)

### イエスを巧みに表現

徴税人ザアカイの話



有名な徴税人ザアカイについてのお話は、ルカ福音書にしか見られません。この話の中では、彼が木に登ってまでイエス様を一目でも見ようとしたこと(19・4)、イエス様が罪人である彼の家に泊まろうとしたこと(19・6)、そして彼の悔い改めの言葉を聞いたイエス様が「この家に救いが訪れた」と言ったこと(19・9)、などに注目されがちですが、改めてこの話を原語から考えてみましょう。

さて、「宿をとつた」と訳された言葉ですが、原語では何かに繋がれている家畜などの「結び目を解く」、「軛から外す」というのが本来の意味です。このことを踏まえると、イエス様はザアカイが結びついてきた罪、欲望、そしてこの世的な利得から彼を解放するために、敢えてザアカイの家に赴こうとした、と考えられます。

このことに対してザアカイの心の奥底から突き上げられるような喜びが生じたのです。つまり、自分自身が一番深く感じていた神様に対する負い目、重荷、即ち、罪から解き放たれたことを悟ったことからこそ、貧しい人に財産を施すことや騙し取った場合の弁済方法について言葉を発したのでしよう(19・8)。

実際に、イエス様は自分と関係がある者だけを救うために来られたのではなく、「失われたものを捜す」(19・10)。この「失われたもの」と訳された言葉

葉は、原語では面白いことに「救うこと」に失



敗する(者)「という意味があります。では、誰が誰を「救うこと」に失敗したのか? それは容易に想像できません。イエス様の言葉にもあるように、嘗て預言者たちは民を救うことに失敗しました(11・47参照)。それどころか、民は彼等を殺してしまふこともありましたが、「救う」とは原語で「直す」という意味があります。こうした過去の歴史：民を救うために繰り返された失敗を踏まえて、最終的に神様は人々を救うために、また、神様との関係を新たに修復するためにイエス様を遣わされたのです。こうしたことから考えてみると、ザアカイの話はイエス様がどのような方であるのか、ということが巧みに描き込まれた箇所であると言えるでしょう。

日時・10月7日(日) 16時〜20時30分 場所・教区本部 内容・「聖書の話あれこれ」(聖書が告げる正義と平和、ルカ福音書を読む)

▼社会問題の分かち合い (毎月第3土曜日) 日時・10月20日(土) 13時〜16時 場所・教区本部 内容・原発・改憲・沖縄の諸問題についての情報交換その他

▼お詫びと訂正

先月号のKJJP通信で「第二次安倍晋三内閣発足の執行人数は3人になる」とありましたが、正しくは「執行人数は34人になる」でした。お詫びし訂正いたします。

り、重く感じる。最近、新聞・テレビで報道された「聖職者による性的虐待」をはじめとして、教会の本来的使命である「福音化」から離れている現状を見ると、マルティニ枢機卿の言葉は身に染みる。「どうして、教会はこうなっているのだろうか」「福音化をどうすればよいのだろうか」と、信徒も司祭もいろいろ考えているはずであるが、現状は一向に改革されない。「残り火」について、プ